

協議會 第二日

大正十年四月七日午後三時三十分開會

一、龜井司氏より救済會に對する内交渉の報告

協議事項

- 一、共同救済會を待たず組合の都合次第發會式を擧ぐる事
- 二、共同救済會とは最も圓滿なる關係を持續し他日同會の完全に解散し合同を希望したるときは之れを容れる事
- 三、發會式の期日を五月七日(土曜日)とする事

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
福	溝	横	田	北	宮	醒	三		
本	口	山	口	野	崎	醐	和		五〇
九		孫	源	勇	勝	資	國		
平	傳	作	記	吉	之	祐	章		

四、共同救済會に對する相談委員を置く事

右委員として龜井、宮崎南氏を推舉し承諾を得たり

出席者

檜崎組合長代理都竹要次郎、濱田國太郎、龜井司、神谷乙吉、醍醐資祐、三和國章、宮崎勝之、北野勇吉、溝口傳、福本九平(海員總會代表者代理)

五、準備委員制定の件

起草委員、設備委員、會計委員の三部に分つ

起草委員	堤 良明	酒井 象太郎	北野 勇吉
設備委員	三和國章	醍醐 資祐	宮崎 勝之
	田口源記	横山 孫作	溝口 傳
	神谷 乙吉		
會計委員	北野 勇吉		
總務委員	龜井 司	濱田 國太郎	

右審議の結果異議なく連名捺印を以て可決午後五時半閉會せり
當日左の誓約書を作成し各委員之れに調印す

誓約書